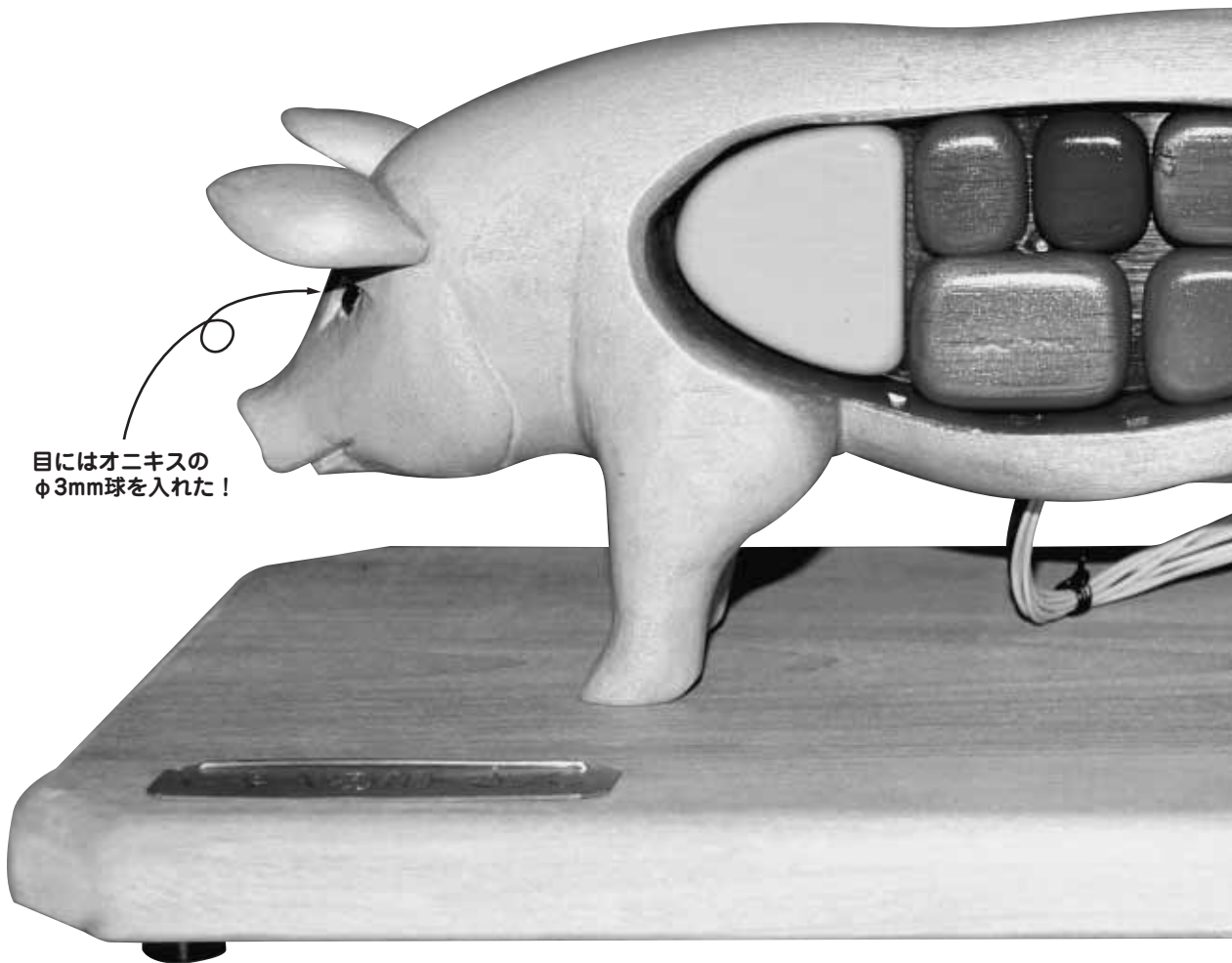


ないぞう 内臓の名前を しゃべる豚さん

杉本 靖



ぐう〜…。いつもお昼に近づくにつれて、おなかから出る摩訶不思議な音。授業中なので、隣の席のおちゃんに聞かれていないか気になります。いったいおなかのどこから音が鳴っているんだ？ ぐう〜なんて音じゃなく、ちゃんと何が鳴っているかわかればいいと思いました。内臓がしゃべれば、おなかの鳴っても恥ずかしくないんだけどなあ…。



目にはオニキスのφ3mm球を入れた！

④ しゃべる豚さんの工作

特集のテーマが「音で(ー)ニヤリとさせる四つの方法」ということで、筆者は豚の解剖模型の各内臓の名前を「しゃべる豚さん」を作ってみました(写真1)。

木彫りのリアルな豚さんのモデルです。ちょっとかわいく、シルエットはリアルに製作しました。目にはオニキスのφ3mm球を埋め込んでいます。本体の片面は内臓が露出した解剖モデルになっています。内臓モデルはグロテスクにせず、直感で配置と内臓の名称がイメージできる形状と配色にしました。

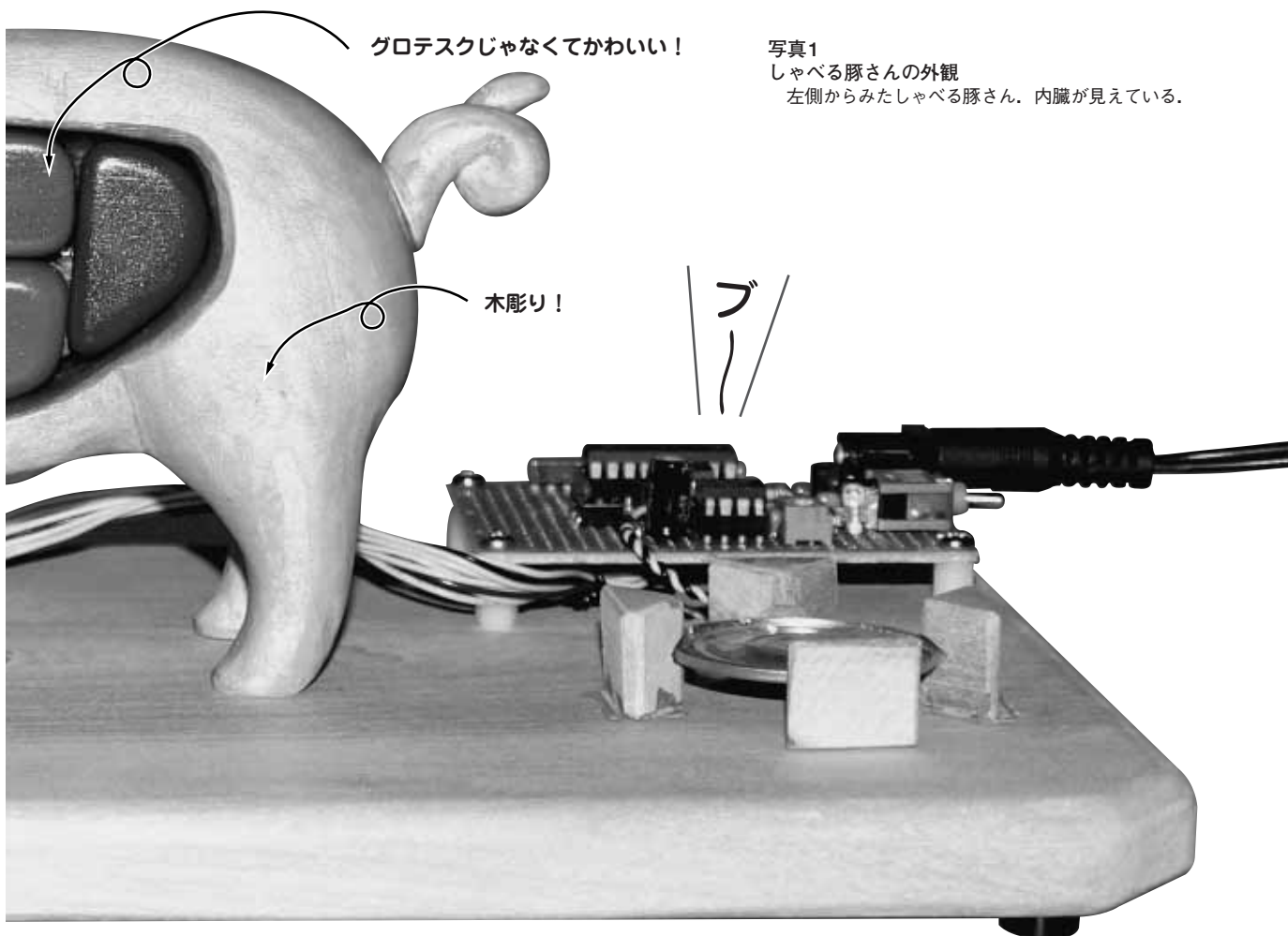
この内臓の各部分一つ一つがスイッチになっていて、押すと内臓部分の名称をしゃべります。電

源を入れたときは「ブー」と鳴きます。木の台に回路基板やモデル(模型)などを配置し、置き物としてまとめてみました。電子工作がメイン・テーマでもあるので、回路基板はむき出しの状態に配置しています。

1. 「しゃべる豚さん」のメイキング

④ しゃべる豚さんの形を決める

さて、まずは「しゃべる豚さん」のモデル(模型)をどのように表現するかがポイントでした。候補には縫いぐるみ、パネル模型、立体模型などがあげられましたが、裁縫の経験がないことから縫いぐるみはやめて、立体模型で実現することにしま



グロテスクじゃなくてかわいい!

木彫り!

写真1

しゃべる豚さんの外観

左側からみたしゃべる豚さん。内臓が見えている。